						平成27年度	き 沼津工	業高等専門学校シラバス
4	年	科目	学外実習Ⅲ	実習	通	年	担当	牛丸真司
電子制御	即工学科	171 🖯	Off-Campus Training III	選択 1履修単位		担当	USHIMARU Shinji	
授業の	既要						•	
本学科の教育目標「C.工学的な解析・分析力、およびそれらを創造的に統合する能力」、「D.論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力」、および「E.与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力」を養うために、企業など学外において専門的な作業を実施する。								
			目標	説明				
				技術者の社会的役割と責任を自覚する態度				
本校学習•	教育目標(:	本科のみ)	2 3	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力 工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力				
			4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力				
			O 5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢				
	ラム学習・教		実践技					
(プログラム対象科目のみ)			(プログラム対	象科目のみ	科目のみ) (プログラム対象科目のみ)			ム対象科目のみ)
	票							
1. 社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。2. 企業における業務の遂行方法(開発手順、作業手順、文書管理など)について説明できる。3. 一日の作業内容を的確に報告できる。								
授業計画								
第1回			受け入れ先との協議によ	る。				
第2回								
第3回								
第4回								
第5回 第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回 第12回								
第13回								
第14回								
第15回								
	/4\ 5.0	B/- 1 //±/ ^			== /=			
評価方法 と基準	(1)口頭試問により社会人としてのコミュニケーションマナーを評価する。 (2)実習報告書の内容とそれに関する口頭試問により、企業における業務の遂行方法を説明できるかを評価する。 (3)作業日誌により、一日の作業報告が的確にできるかを評価する。 実習報告書(70%)、口頭試問(20%)、自己評価(10%)							
教科書等	教科書なし。プリントを配布							
備老	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。							

2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。